



●中学時代



●高校時代



●小学校時代

## 得意を磨く

小学3年生から野球を始め、中学2年生まで控え選手だったそうです。そんなとき、「このまま3年の夏に引退したくない」という思いから、苦手だった守備よりも打撃力をさらに伸ばして自分の得意なところをもっと磨こうと決めました。そして、「1試合に2本のヒットを打つ」という目標を立て、2年生の冬から他の部員以上にバットを振り込み練習しました。そして中学3年生の春にはレギュラーを取ることで、夏には全国中学校軟式野球大会準優勝に貢献しました。

桜井高校に入学後は1年生からレギュラーで試合に出ており、3年生の夏には全国高等学校野球選手権富山大会で優勝し、甲子園に出場しました。「高校の時はチームの勝利に結びつくような打撃ができるよう頑張りました。3年間は練習の辛さより、とにかく試合に出れることが嬉しくて本当に楽しかったです」と話す藤井さんは、3年生の春から本格的にプロ野球選手を目指すようになったそうです。甲子園出場後も後輩たちと一緒に練習を続け、ドラフト会議当日は高校生ドラフトの4巡目4位で福岡ソフトバンクホークスに選ばれました。



## 「恩返し」

育つから育てるへ

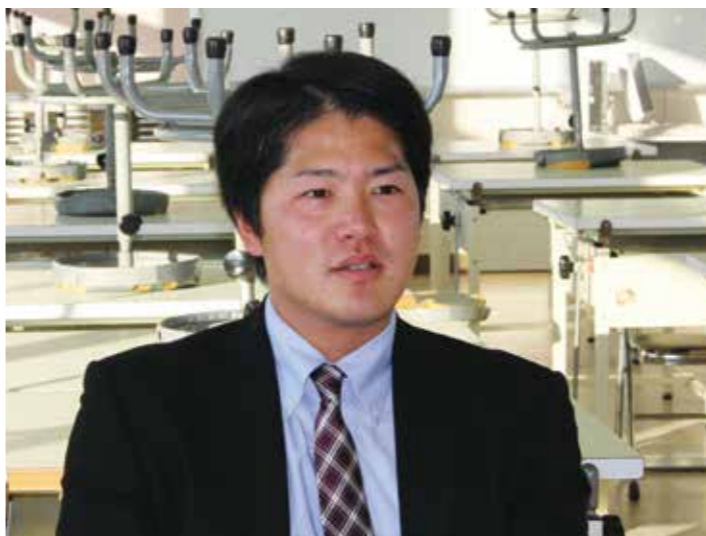
「誰でもできるわけではない。しかも、母校の監督を任せていただいて、本当に感謝しています」と嬉しそうに話すのは、元プロ野球選手で、今年度8月から桜井高等学校野球部の監督となった藤井翼さん(27歳)。

高校卒業後、地域の人々の期待を背負いプロ野球の世界に進みました。黒部に戻ってからは、高校生に野球を教え、子どもたちを育てる立場となりました。大好きな野球をする選手から指導者になった時、藤井さんは何を思ったのか、これまでのお話を伺いました。



# プロ野球の厳しさと奥深さを知る

「自分は富山県で一番良いバッターである」と自信を持ってチームに加わったのですが、参加してみたらそのレベルの高さに驚きましたね。そして練習量も尋常ではなく、朝から晩まで野球漬けの日々でした」と話します。1年目は2軍からのスタートで、体力づくりや基礎練習が多く、厳しい練習で自分のプレーに自信がなくなっただけでもありません。しかし、周りの選手も必死に練習している姿を見ると、



地元の皆さんへの感謝の思いを語りました

弱音を吐くこともできなかったそうです。その一方で、今まで自分が知らなかった戦略や戦術を学び、野球の奥深さを知ることができて楽しかったとも話します。2年目からは2軍の試合に出場する回数も増え、秋に行われる若手主体のフェニックスリーグの試合で10試合中ホームランを4本打って、調子が上がってきたそうです。

しかし、リーグ期間中の朝、試合に向かう準備をしていた時に突然、球団から電話がかかってきました。それは、「1軍の試合に出ることができない育成選手に契約を変更したい」という電話でした。育成選手は2軍よりもさらに厳しい練習をしながら1軍選手を目指さなければなりません。厳しい練習に耐えて育成選手として野球を続けていくのか、別のチームへ移るのか、プロ野球を諦めて地元に戻って働くか、3つの選択肢で何度も考え、周囲の人々にも相談していた中で、両親からは「自分の人生なのだから自分で決めなさい」と言われたそうです。そして、プロ野球に進むと決めた時から、選手としての生活を終えた後、のことも考えていたことを思い起こし、地元で働きながら母校で野球の指導に携わることを決意しました。

「地元の皆さんに今まで支えてもらったおかげで、僕は他の人がなかなか経験できないところに行かせてもらえました。その感謝の気持ちを本日は試合で活躍して伝えたいです。ですが、それができずに帰ってくることにしました。でも僕は夢を諦めて終わるのでは

なく、最後は子どもたちに野球を教え、新しい選手を育てていくことが自分のできることだと思っていました」と当時の心境を話します。

## 8年間の準備

黒部へ戻ってからは母校の桜井高校土木科の職員として働きましたが、当時はまだプロ野球の規定があり、すぐに高校野球に関わる指導はできませんでした。4年間は女子ソフトボール部の顧問をし、その時は限られた環境の中でどうやって最大限の練習をするかを考える習慣がつき、いつか指導者になったときのためにその間に指導方法やアイデアをノートにまとめていたそうです。野球部のコーチになってからは、設備が整ったグラウンドを活かしてできる練習や子どもたちが今まで体験したことがない練習など、様々な練習メニューを考えるようになり、プロで学んだ戦術や戦略などを高校生が理解しやすいように丁寧に伝えていきました。

そして、昨年の8月に新チームの監督に就任。藤井さんはいつでもチームをまとめられるように準備をしていたそうですが、「コーチと監督は全然違いますね。コーチを務めていた時は、チームの軸となる監督をサポートする役割を担っていました。監督になってからは、自分がこのチームをまとめて指示を出していくので今まで以上にプレッシャーを感じています。皆さんの期待に応えていきたいと思っています」と話します。

## 大切にしていること

藤井さんは、高校生に教える時に2つのことを大切にしています。1つ目は、多数の小さな目標を設定することです。「小さな目標をたくさん作って、達成できたら次の目標を立てていくようにしています。例えば、富山県1位になるために、今日の目標、1週間の目標、1カ月の目標を子どもたちに立ててもらいます。そして、自分も同じように目標を立てて、日々の練習やゲームに取り組んでいます。僕もそうだったんですよ。まずは1試合ヒット2本、そのために素振りから始める。そこから大きなプロという目標に進んでいきました。」と話し、多数の小さな目標設定が甲子園出場やプロ野球選手になるといった大きな目標の達成につながっていくと考えています。

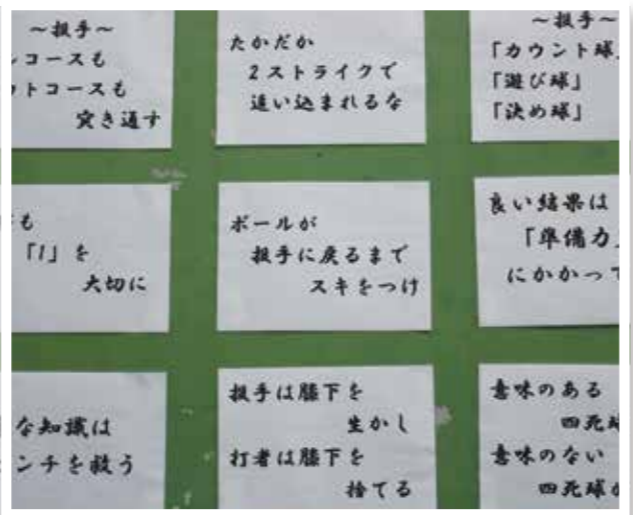
2つ目は準備です。「いいパフォーマンスを出すには、何を食べるのか、いつ寝るのかなど自分の生活習慣の確認や、道具の手入れ、サインの確認、試合中のエラーの原因を見つけ、同じミスを繰り返さないための練習が大事です。そして、試合に向けて準備を多くした選手が、良い結果につながります。これらは当たり前のことかもしれませんがプロの世界で改めて徹底して実践することの大切さを学びました」と話し、今はそのことを伝えながら、新チームの士気を上げていきたいと考えているそうです。



プロで学んだ知識を教えています

## 地元への恩返し

藤井さんは、「僕を応援してくれた皆さんの期待に応えられずに帰って来た時は、申し訳ないという気持ちが強かったです。でも、今は母校の野球部監督として、高校野球を通じて地元を盛り上げたいと思っています。桜井高校を応援してください。地域の皆さんは、本当に熱い気持ちを持った方が多いですよ（笑）。僕は、黒部市の野球チームというように頑張りを受けています。そして、プロの世界で頑張ってきたつもりで、指導者として



練習場に、びっしりと貼られている目標の言葉



てもらい、「いいね！」って思ってもらいたいですね。自分自身やっぱ黒部が好きだし、ここで育ったし、皆さんに育ててもらったという気持ちは強いんですよ。それが今の僕にできる地元への恩返しだと思っています」と話し、周囲の人々に対する感謝の気持ちが伝わってきました。

藤井さんの夢は、桜井高校5回目の甲子園出場です。29人の部員一人ひとりの強みを活かして、今年度の秋季大会ベスト4以上の結果を残していきたいと考えています。そして、野球を通じて子どもたちが成長することも大切にしていきます。桜井高校野球部の部員全員を自分の家族だと思い、協力してくれる人々と一緒に成果を上げていこうとする中で、子どもたちが失敗を恐れずにプレーをして、喜び合っている姿を見ると、藤井さんもやりがいを感じるそうです。



地元への恩返しと語っていました

### 伝える思い

後日インタビューした桜井高校野球部の山本航生主将は、「憧れの選手だった藤井監督は、僕たち以上に野球に対する熱い思いを持っておられ、その思いに応えられるように日々頑張っています」と話し、藤井さんの思いは子どもたちにも着実に伝わっていることがわかりました。今回の取材を通じて、10代でプロという世界を体験し、その経験を活かした力を「ここ黒部」で形を変えて遺憾なく発揮する藤井さんの話は、とても前向きで勇気づけられるものでした。そして、私たちも家族だけでなく周囲の人や地域のつながりの中で育ててもらってきたのだということに改めて気づかされました。

最後に藤井さんは「自分の姿を見て『若者でもやればできる！』というのを地域のみんなに知ってもらい、同世代で仕事や目標に向かって頑張っている人たちが勇気づけたい」と話してくれました。

藤井さんのような若い世代が一人でも多く活躍していく姿を応援しつつ、これからの黒部をもっと明るく活気あふれるまちになることを願う、二年の始まりの取材となりました。



## ふくしスマイルワーカー

福祉に携わる人のお仕事拝見!

### どんな仕事をしていますか？

入院中の患者さんやご家族と面談し、退院後の生活についてお話を伺います。そして、これらの生活に対する不安を和らげ、今後の見通しがたてられるように必要な福祉サービスや制度の情報を提供しています。また、ケアマネジャーや行政など専門職と情報を共有しながら、退院後も安心して生活できるように努めています。

### どんな時にやりがいを感じますか？

福祉サービスや制度の利用に向けて支援調整したことで、生活課題を抱えていた患者さんの生活環境を整えることができ、本人やご家族から「これで安心して自宅に帰ることができました」という言葉をいただいた時です。



スマイル Vol.47

黒部市民病院 地域医療支援センター  
地域医療連携室  
社会福祉士

飯沢 千明さん(25)

好きな事  
野球観戦、ライブ鑑賞



退院に向けて支援調整しています

## 写真レポート



11月2日(木) 黒部川リバーサイドパークゴルフ場

### 黒部市社協杯 チャリティパークゴルフ大会

37名が参加し、優勝を目指し楽しくコースをまわりました。ホールインワンが出ると、さらに盛り上がり、秋晴れの中気持ちの良い汗を流しました。



10月13日(金) 国際文化センターコラーレ

### 活発な意見交換で新たな関係を

黒部市更生保護女性会と黒部市民生委員児童委員協議会の意見交換会が行われ、参加者は今後は情報を共有しながら活動していきたいと話していました。



### 活動レポート1

#### 地域貢献活動事業

#### 社会貢献、ボランティアについて話し合いました

11月7日(火)ホテルアコア黒部で「地域での生活と企業活動の交わり、地域課題の解決から地域社会の共創推進セミナー」を開催しました。

関西学院大学 橋川健祐はしかけんすけ氏の講演、市内のボランティア団体が地域と連携したボランティア活動、企業が本業を行いながら取り組んでいる社会貢献活動の紹介がありました。

参加者が日頃の活動を紹介し合い、地域貢献や地域の課題解決に向けて情報交換ができました。

Pick up!  
企業や地域の団体と連携をとっていきましょう



### 活動レポート2

#### 災害時のボランティア活動について学ぶ

11月11日(土)に三日市公民館で災害ボランティア活動支援研修会が行われました。柏崎市社会福祉協議会 大塚真光おつかまひこ子氏を講師に招き、中越沖地震発生時の実例をお聞きしました。

また、黒部市で地震被害を受けたことを想定し、参加者がそれぞれの役割に分かれて、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を行いました。



### 活動レポート3

#### 黒部市内にある11社会福祉法人が集まりました！ 黒部市社会福祉法人連合会設立総会

11月10日(金)黒部市国際文化センターコラーレで黒部市社会福祉法人連合会設立総会が開かれ、宇奈月福祉会・せせらぎ会の中谷延之のぶゆき理事長が代表幹事に就任しました。今後は、合同研修など各社会福祉法人間のネットワーク強化や人材育成をめざし、提言力・行動力の強化、地域の福祉向上に取り組むことを確認しました。

記念講演・ワークショップでは、社会福祉法人大阪ボランティア協会事務局長の永井美佳ながいみか氏を講師に招き、各法人の強みと弱みを話し合いながら、社会福祉法人にできる地域貢献活動を考える場となりました。

#### 黒部市社会福祉法人連合会役員

##### ●代表幹事

中谷 延之 氏(宇奈月福祉会・せせらぎ会)

##### ●副代表幹事

岩井 恵澄 氏(あいじ福祉会)

川村 昭一 氏(緑寿会)

松井 敏昭 氏(黒部市社会福祉協議会)

##### ●監事

松井 喜治 氏(黒部笑福学園)

永井 出 氏(くろべ福祉会)



### 活動レポート4

#### 荻生地区くろベネット交流会

#### みんなで力を合わせて地域を幸せにするために

11月17日(金)、荻生の館で荻生地区くろベネット交流会が開催されました。民生委員児童委員やくろベネットチーム員など43人が集まり、富山県社会福祉協議会地域福祉部長の古野智也ふるのともなり氏を講師に招き、住民主体の地域づくりについて学びました。

グループワークでは、遠巻きの見守りを行っているチーム員や声をしているチーム員など、一人ひとりができる範囲で活動していることを話し合いました。住民がお互いに関心を持ちあうことが地域づくりには大切であると気づく時間となりました。





民生委員児童委員と心配ごと相談

行政相談員と行政相談 予約不要

黒部市福祉センター(金屋464-1)

1月9日(火) 13:30~15:30

黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)

1月11日(木) 13:30~15:30

弁護士と法律相談 予約受付/1月4日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)

1月16日(火) 13:30~15:30

同じ相談内容の場合は、  
お一人様につき3回までとさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター

生活自立支援相談 予約受付/1月4日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)

1月15日(月) 10:00~11:30

今月の相談日



来て見てヤンバイ映画館

[開催時間] 13:30から 入場無料

1月16日  
(火)

「おとうと」

出演:吉永 小百合 笑福亭 鶴瓶

場所 愛本交流館



地域福祉  
のために

黒部市社会福祉協議会に  
寄付をいただきました  
ありがとうございました

- (故)中田 圭子 様(三日市)
- (故)東 昇一郎 様(大布施)
- 木島 哲志 様(村椿)
- 黒部市愛本地区遺族会 様
- 黒部市農業協同組合 様



催し物と休館日のご案内

1月

13日(土) 日本海歌謡研究会

歌と踊りの祭典 10:30~

20日(土) YKK社友会歌謡同好会 10:30~

21日(日) 歌謡パラダイス ふれあいショウ 10:30~

27日(土) 魚津カラオケ友好会 歌謡ショー 10:30~

休館日 毎週月曜日(8日・15日・22日・29日)

1日(月)・2日(火)・3日(水)

※1~3日は年始お休みです。

2月

17日(土) あおいバラサークル歌謡発表会 10:30~

18日(日) こぶしカラオケ愛好会 10:30~

25日(日) はまなすカラオケ&踊り 10:30~

27日(火) 黒部市市老連カラオケ発表会 10:30~

休館日 毎週月曜日(5日・12日・19日・26日)

黒部市福祉センター [利用時間] 8:30~16:30

[入浴時間] 10:00~16:00

雪とともに暮らす人々を支える

# あったか雪募金

あの人  
雪を嫌いになってしまう前に。

「あったか雪募金」は、  
雪がたくさん積もってしまって困る皆さんを  
支えるための募金です。  
たとえば雪下ろしができないおばあちゃんの家  
の雪かきをするために使われます。  
雪と生きるわたしたちの町ならではの、  
あたたかい気持ちを募っています。

実施期間 | 2018.1.1月 ▶ 3.31土

富山県黒部市共同募金委員会  
〒938-0022 富山県黒部市金屋464-1  
TEL.0765-54-1082

お知らせ

黒部市福祉センターの  
入浴時間を延長します!

1月・2月の期間限定

平成30年(毎週金曜日)

1月12日、19日、26日

2月2日、9日、16日、23日

[入浴時間]

期間中金曜日は2時間延長します

午前10時~午後6時

※午後4時30分以降は、

入浴のみのご利用になります。

※1・2月の2か月間、試行で時間延長を行います。

お問い合わせはこちら

黒部市社会福祉協議会 TEL. 0765-54-1082

写真レポート



11月16日(木) 下立まちおこしセンター

男性の料理教室

15名が参加し、おろし大根と里芋のだし煮など4品を作りました。皆さん手際よく調理し、栄養バランスが整ったおかずが完成しました。



12月8日(金) 前沢公民館

女性教室 -ハーバリウムを作ろう-

エミグリーンムーン  
13名が参加し、emigreenmoonデザイナーの吉川氏を講師に招き、好みの植物を選び自分だけのハーバリウム(植物標本)ができあがりました。

誕生日のお祝いに  
福祉センターの入浴券はいかがですか? 11枚綴り  
3,000円





藤井翼さん



2018

1月  
Vol.142



【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 平成30年1月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

### うなづき

【参加費】150円(入館料のみ)



介護予防通所事業  
**生き生き倶楽部**  
黒部市宇奈月老人福祉センターにて

[時間]9:30~15:00 [対象]65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
31	1 元旦	2	3	4 レクリエーション	5 レクリエーション	6
7	8 成人の日	9 季節行事	10 季節行事	11 季節行事	12 季節行事	13
14	15 自力整体	16 自力整体	17	18 健康体操B	19 自力整体	20
21	22 レクリエーション	23 健康体操B	24	25 健康体操B	26 健康体操B	27
28	29 健康体操A	30 健康体操B	31	2/1 健康体操B	2 自力整体	3

時間/10:00~11:00

※■は休館日

健康体操A 石田みどり 先生 健康体操B 村田あゆみ 先生  
自力整体 稲田 清美 先生 季節行事 …書き初め

### くろべ

【参加費】300円(入館料のみ)



介護予防のための  
**元気はつらつ体操教室**  
黒部市福祉センターにて

[時間]10:00~11:00 [対象]65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
31	1 元旦	2	3	4	5	6
7	8 成人の日	9 体操	10 体操	11 体操	12 体操	13
14	15	16 健康体操A	17 自力整体	18 健康体操A	19 健康体操A	20
21	22	23 自力整体	24 健康体操A	25 自力整体	26 自力整体	27
28	29	30 体操	31	2/1 健康体操B	2 体操	3

時間/10:00~11:00

※■は休館日

健康体操A 樋口 瞬 先生 健康体操B 炭田 亮子 先生  
自力整体 稲田 清美 先生 体操 小森亜希子 先生



#### 夏より危険! 冬のかくれ脱水にご用心!

冬は、室内が乾燥し、体から水分が失われやすくなります。また、汗をかくことが少なく、積極的に水分補給をしないため、さらに体内の水分量が減少します。

##### 〈かくれ脱水の予防策〉

- 喉の渇きを感じる前にこまめな水分補給を心がけましょう。
- 室内の湿度を保ちましょう
  - ・洗面器やコップに水を入れて置く
  - ・濡れたタオルや洗濯物を部屋に干す
  - ・換気する

お問い合わせは黒部市宇奈月老人福祉センター  
TEL.(0765)65-1820 担当:山内まで



#### 今月の表紙

あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願いたします。  
柴犬のへいた君は外遊びが大好きで、雪玉を追いかけて庭を駆け回っていました。人懐っこい性格で、私たちとも一緒に遊んでくれました。

編集 高村

福祉・ボランティアに関することは

本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797  
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

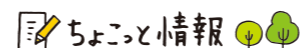


黒部市社会福祉協議会

http://www.kurobesw.com/

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内

〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533  
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp



【黒部市の人口】41,729人 [65歳以上の人口] 12,656人 高齢化率 30.3% H29.11.30 現在